

兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科研究等一覧
(令和2年4月～令和3年3月)

緑文化・生活部門

田淵美也子 准教授

【学術論文】

札埜高志・豊田正博・金子みどり・田淵美也子. 2021. 竹粉混入培養土での花苗生産に適した施肥方法の検討. 園芸学研究 20 (別冊1) :314

【学会発表】

上田和子・田淵美也子 2020「温暖地における宿根草ガーデンの制作とその展望」日本造園学会関西支部大会ポスター発表関西支部賞受賞

小林徹也・田淵美也子・井上浩章 2020「神戸市六甲山地区におけるヤマアジサイの分布と多様性」日本造園学会全国大会でポスター発表 (WEB 参加)

松岡達郎・田村悠希・三俣 学 ・田淵美也子・吉田進 2020「神戸市六甲山系の森林・緑地保全における新たな「自治と連帯」の仕組みづくり」話題提供3「六甲山唐櫃エリアにおける地域資源としての植物」日本造園学会全国大会のミニフォーラムに WEB 参加

【外部資金の獲得状況】

兵庫県 IT 技術を用いた花と緑のまちづくり活性化可能性に関する調査

【受賞等】

上田和子・田淵美也子 2020「温暖地における宿根草ガーデンの制作とその展望」日本造園学会関西支部大会ポスター発表関西支部賞受賞

【その他】

朝日新聞淡路版「あわじ野の花 庭の花」に連載9月～3月 12回

「サルビア」「キンモクセイ」「コスモス」「ミツバハマゴウ」「ミューレンベルギア」「ツワブキ」「ヒイラギモチ」「ロウバイ」「ローズマリー」「スノードロップ」「ギョリュウバイ」「マグノリア」

札埜高志 准教授

【学術論文】

Kitamura, Y., T. Fudano and Y. Kawanishi. 2020. Relation between Floral Initiations on

Apical Buds of Basal Shoots after the Autumn and Cultivar Difference of Unseasonal Flowering of Hydrangea. Hort. J. 89: 488–495.

【学会発表】

Fudano, T., M. Toyoda, M. Kaneko and M. Tabuchi. 2020. Bamboo powder with liquid fertilizer as a growth substrate for French marigold. AHC2020

札埜高志・豊田正博・金子みどり・田淵美也子. 2021. 竹粉混入培養土での花苗生産に適した施肥方法の検討. 園芸学研究 20 (別冊1) : 314.

菊川裕幸・札埜高志. 2020. 農業教育の現場で実践できる簡易な植物培養法の検証. 日本農業教育学会誌. 51 (別号) : 27–30.

【外部資金の獲得状況】

基盤研究 (C) (一般) ピートモスの代替培養土として竹材を利用する (代表, 2020 年)

受託研究 (兵庫県南あわじ市) 灘黒岩水仙郷園地調査業務 (代表, 2020 年)

豊田正博 教授

【著書】

豊田正博(2020) こんなときこそすごい植物の癒しの力を. 全国鉢物類振興プロジェクト協議会. 東京都. (ハンドブック)

豊田正博(2020)九州農政局 農福連携マッチング実践のための参考書 農福連携とバイオフィリア～農作業が障害のある人に向く理由～.85-86. (共著, 章合計1)

豊田正博 (2021) 1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み 2章 生物育成の技術による問題解決. 教師用指導書 中学校技術・家庭(技術分野). 東京書籍. 東京. ページ (共著, 章合計2)

【学術論文】

豊田正博・菊川裕幸・野沢百合奈・飯島健太郎 (2021) 植物の健康効果に関する情報提供が鉢物に対する集合住宅居住者の購買意欲を向上させる可能性. 人間・植物関係学会誌. 20(2)33-47. [査読付]

【学会発表】

Masahiro TOYODA. Five Key Factors in Horticultural Therapy.中国風景園林学会主催 2020 Chinese Horticultural Therapy and Therapeutic Landscape Forum and the Founding Meeting of the Horticultural Therapy and Therapeutic Landscape Committee of Chinese Academy of Landscape Architecture. 北京,中国,2020.6.6.基調講演 (Web) (海外)

豊田正博・菊川裕幸・横田優子・飯島健太郎. 都市部における新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言にともなう外出自粛以降の植物購買動向とバイオフィリア. 人間・植物関係学会 2020 年度オンライン研究発表会. (Web 発表)

札埜高志・豊田正博・金子みどり・田淵美也子. 2021. 竹粉混入培養土での花苗生産に適した施肥方法の検討. 園芸学研究 20 (別冊 1) :314. (ポスター)

Fudano, T., M. Toyoda, M. Kaneko and M. Tabuchi. 2020. Bamboo powder with liquid fertilizer as a growth substrate for French marigold. AHC2020 (ポスター)

【外部資金の獲得状況】

農林水産政策研究所 令和2年度連携研究スキームによる研究 (委託研究課題)「農福連携効果の学際的かつ定量的研究」(分担)

(受託研究)

都市地域における新たなニーズに対応した鉢物類効用調査

金子みどり 講師

【学会発表】

金子みどり・別處正子・井嶋茉美. 2020. 公園を活用した子育て支援: 保護者のストレス緩和に向けて (第2報). 子ども環境学研究 17 (1) :71.

札埜高志・豊田正博・金子みどり・田淵美也子. 2021. 竹粉混入培養土での花苗生産に適した施肥方法の検討. 園芸学研究 20 (別冊 1) :314.

Fudano, T., M. Toyoda, M. Kaneko and M. Tabuchi. 2020. Bamboo powder with liquid fertilizer as a growth substrate for French marigold.AHC2020

景観植物資源部門

藤原道郎 教授

【学術論文】

藤原道郎 (2020) 特定外来生物ナルトサワギク (*Senecio madagascariensis* Piolet) の生態的特性と兵庫県淡路島における分布状況, 景観園芸研究 21, 23-38

鈴木美香・山本聡・藤原道郎・大藪崇司 (2020) 室内で植物を毎日見ることによる生理的・心理的効果, 景観園芸研究 21, 1-5.

【学会発表】

藤原道郎 (20201107) 地域資源としての海岸林と維持管理. 令和 2 年度日本海岸林学会米子大会 (オンライン開催)

谷河濤・藤原道郎 (20200920) 兵庫県淡路島の常緑広葉二次林におけるヒメシヤラ個体群の分布状況. 第 30 回日本景観生態学会(web 大会)209.

楊燕秋・藤原道郎・大藪崇司・澤田佳宏・山本聡 (20200920) 生業文化を基にした淡路島北部のエコミュージアムの実践. 第 30 回日本景観生態学会(web 大会)

谷河濤・藤原道郎 (20201107) 兵庫県慶野松原における伐採された枯死クロマツ大径木の年輪. 令和 2 年度日本海岸林学会米子大会 (オンライン開催)

【外部資金の獲得状況】

科研費分担: AI を用いた全国規模の群落レベルの時空間的变化を表現する植生図化と予測モデル構築

科研費分担: 棚田地帯での圃場整備に際して実施可能な畦畔草原保全手法の開発および標準化

大藪崇司 准教授

【学術論文】

鈴木美香・山本聡・藤原道郎・大藪崇司 (2020) 室内で植物を毎日見ることによる生理的・心理的効果, 景観園芸研究 21, p 1-5

【外部資金の獲得状況】

阪神園芸株式会社; 研究寄付金

五洋建設株式会社；研究寄付金
兵庫県園芸・公園協会；受託研究
大阪府立大学；受託研究

【その他】

大藪崇司・兼村星志（2020）サクラ類の剪定管理における現状と課題，グリーン・エージ 2020 年 10 月号，p19-22

大藪崇司（2021.1）2020 年度日本万国博覧会記念公園万博の森づくり共同研究報告書
万博記念公園自然文化園「きのこ」分野の調査,29-44

大藪崇司，他（2021.3）京都市保存樹調査報告書，京都樹木医会，35pp.

大藪崇司（2021.3）I T技術を用いた花と緑のまちづくり活性化可能性に関する調査報告，27pp.

山本聡 教授

【著書】

ランドスケープで変わる価値観，編集及び共著
65-69，「緑地評価と価値観の多様性」の章を共同執筆，神戸新聞総合出版センター

【学術論文】

鈴木美香・山本聡・藤原道郎・大藪崇司（2020）：室内で植物を毎日見ることによる生理的・心理的効果，景観園芸研究 21,1-5「査読付」

【学会発表】

山本聡・嶽山洋志・薬師寺恒治・守宏美・中瀬勲（2020）コロナ過での大規模都市公園の芝生広場利用，2020 年度日本造園学会関西支部大会研究・事例発表要旨集，38

守宏美・嶽山洋志・山本聡・中瀬勲（2020）メディアがとらえたコロナ禍の公園，2020 年度日本造園学会関西支部大会研究・事例発表要旨集，37

【その他】

招待論文：山本聡（2020）大規模都市公園の利用状況から見えてくるもの，日本緑化工学会誌 46（2），195

澤田佳宏 准教授

【著書】

澤田佳宏 (2021.3.22) 里地の半自然草原を都市で再生・保存する. 「ランドスケープからの地域経営 5. ランドスケープで変わる価値観 ～植栽デザインから管理運営まで～」(山本聡・岩崎哲也 編, 神戸新聞総合出版センター), pp.43-48.

【学会発表】

菅井暁乃・澤田佳宏 (2020.11.15.) 淡路島の放棄棚田畦畔におけるヤギ除草による植生の変化. 植生学会第 25 回大会 (筑波大学, つくば・オンライン)

黒田有寿茂・澤田佳宏 (2020.11.15.) 海浜植物イソスミレの種子発芽特性と実生の初期成長特性-堆砂の影響に着目して-. 植生学会第 25 回大会 (筑波大学, つくば・オンライン)

伊東由緑子・澤田佳宏 (2020.11.15.) 淡路島北部における 1950 年代以降の牛飼い農家の生業と畦畔草原利用. 植生学会第 25 回大会 (筑波大学, つくば・オンライン)

松村俊和・澤田佳宏・橋本佳延 (2020.11.15.) ゴルフ場の植物および植生に対するゴルフファターの意識: 多様性の高い草原植生の残るゴルフ場での調査. 植生学会第 25 回大会 (筑波大学, つくば・オンライン)

橋川洸・澤田佳宏 (2021.3.18.) 淡路島公園に取り込まれた放棄ため池および湿田における植生の現状と保全上の課題. 日本生態学会第 68 回岡山大会 (岡山・オンライン)

【外部資金の獲得状況】

棚田地帯での圃場整備に際して実施可能な畦畔草原保全手法の開発および標準化 (研究代表者) (2019.4-2022.3) 科研費基盤研究 (C)

ゴルフ場の半自然草原を活用した生物多様性の保全 (研究分担者) (2015.4-2021.3) 科研費基盤研究 (C)

【その他】

(その他のアウトリーチ活動)

ラジオ関西「PUSH!」出演“里のくさはらの自然を楽しむ、守る” (2020.11.9.)

朝日新聞 (淡路版) 朝刊連載コラム“あわじ野の花庭の花”「(1)アキノタムラソウ

(2020.9.1.)」「(3)ヒガンバナ (2020.9.15)」「(4)ミズオオバコ (2020.9.22)」「(7)ツリガネニンジン (2020.10.13)」「(8)メガルカヤ (2020.10.21)」「(10)ナンバンギセル (2020.11.3)」「(12)ハママツナ (2020.11.17)」「(13)野菊 (2020.11.25)」「(15)アゼトウナ (2020.12.8)」「(16)シマサルナシ (2020.12.15)」「(18)ススキ (2021.1.6)」「(21)ホトケノザ (2020.2.2)」「(22)ヤブツバキ (2021.2.8)」「(25)ハマダイコン (2021.3.3)」「(26)アオモジ (2020.3.9)」

景観デザイン部門

沈悦 教授

【著書】

山本聡・沈悦：ランドスケープからの地域経営シリーズ図書 No.5, 第3章「ランドスケープで価値を変わる価値観」, 神戸新聞総合出版センター, p 65-69

【学術論文】

沈悦・天王寺寛人・光成麻美 (2021)：造園教育現場における循環社会に対応した光庭の制作, ランドスケープ研究増刊 vol. 84、 p 108-11

陳瀟男・沈悦・光成麻美 (2020)：中国における都市近郊農村の拠点計画, 景観園芸研究 No.21、 p 7-12

【受賞等】

中国深セン市福安区福安社区公園プロジェクト(共同)：深セン市勘察設計一等賞受賞, 2020.10

竹田直樹 准教授

【著書】

【分担執筆】 Naoki Takeda (2021) Contemporary sculpture since 2000 in Japan, Kaniv international sculptural symposium 編, «Monolit»-about contemporary sculpture, Aurora Leningrad (Kiev Ukraine), 45-56

【書評】 芸術創造と公共政策の共創「アートプロジェクトの可能性」、谷口文保著、九州大学出版会、2019年10月15日、環境芸術24、56

【学術論文】

Slideshow:Public Art in Japan について、環境芸術24、42-43 【査読なし】

【学会発表】

「Slideshow:Public Art in Japan」、竹田直樹、環境芸術学会第20回記念大会特別企画、2020年10月25日から29日、東京都港区増上寺

岩崎哲也 准教授

【著書】

中瀬 勲監修、山本聡・岩崎哲也編集（2021.2）ランドスケープからの地域経営⑤ランドスケープで変わる価値観 ～植栽デザインから管理運営まで～. 神戸新聞総合出版センター, pp76.

【学術論文】

岩崎哲也・山元高幸・安藤邦彦（2021.2）建物壁面改修時のエスパリエの一時退避について.ランドスケープ研究(造園技術報告集)Vol.84.pp.42-45.

【学会発表】

矢口芽生・岩崎哲也（2020.5.15）北淡路の身近な昆虫類について～春季調査報告～. 日本造園学会全国大会兵庫県立大学（web開催）ポスター発表, 兵庫.

石井光生、岩崎哲也、山岡好夫（2020.10）都立東白鬚公園の植栽樹木の防火効果の評価—植栽配置および樹木診断による樹木の生育状況からの評価—. 樹木医学会全国大会, web開催

武部絵里香、鳥海晴江、岩崎哲也、山岡好夫（2020.10）こども自然公園における「桜類集団枯損治療共同実験」の土壌処理の違いが自然の豊かさの評価と土壌の理化学性におよぼす影響. 樹木医学会全国大会, web開催

景観マネジメント部門

美濃伸之 教授

【学術論文】

萬代悠太・美濃伸之・嶽山洋志（2021）熱中症指数の分布と公園利用実態の関連分析による国営明石海峡公園における熱中症リスク区分図の作成 ランドスケープ研究 Vol.84 増刊 技術報告集 No.11.38-41.

美濃伸之（2021）防災のユニバーサル化と公園緑地 公園緑地 Vol.81.No.4, 13-16. (招待論文)

【学会発表】

美濃伸之（2020）受講生属性に配慮した公園緑地バリアフリー講義の実際とその課題
日本造園学会全国大会ポスター発表

美濃伸之（2020）公園管理におけるユニバーサルデザインの主流化-国営海の中道海浜公園の事例- 日本造園学会関西支部ポスター発表

美濃伸之（2020）公園管理運営の実際とユニバーサルデザインにかかる取組の関係性について 日本福祉のまちづくり学会全国大会

【外部資金の獲得状況】

科研費・基盤研究 C「公園緑地を媒介とした要支援者の減災のための情報共有とそれを促す防災プログラム」2020-04-01 - 2024-03-31

嶽山洋志 准教授

【学術論文】

山本あゆみ・嶽山洋志・美濃伸之（2020）山間の再生困難な荒廃農地への侵入樹木の利用と土地所有者の再利用意識に関する考察. ランドスケープ研究 83(5), 651-654. 査読あり

尾谷悠介・嶽山洋志・山本聡・薬師寺恒治・中瀬勲（2020）都市公園における新型コロナウイルス感染症の流行が公園利用に及ぼす影響. 2020 年度日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集, 1-4. 査読なし

嶽山洋志（2020）米国の植物園内に作られたチルドレンズ・ガーデンの学習プログラムと環境の特徴について. 2020 年度日本造園学会全国大会ポスターセッション発表要旨集, 40. 査読なし

嶽山洋志（2020）ニューオリンズにおけるエディブル・スクールヤード・プロジェクトの特徴. 2020 年度日本造園学会関西支部大会研究・事例報告発表要旨集.p38-39. 査読なし

守宏美・嶽山洋志・山本聡・中瀬勲（2020）メディアがとらえたコロナ禍の公園. 2020 年度日本造園学会関西支部大会研究・事例報告発表要旨集.p37-38. 査読なし

山本聡・嶽山洋志・薬師寺恒治・守宏美・中瀬勲（2020）コロナ禍での大規模都市公園

の芝生広場利用. 2020 年度日本造園学会関西支部大会研究・事例報告発表要旨集.p38.
査読なし

【学会発表】

嶽山洋志 (2020) 米国の植物園内に作られたチルドレンズ・ガーデンの学習プログラムと環境の特徴について, 令和 2 年度日本造園学会全国大会, ポスター発表, オンライン.

嶽山洋志 (2020) ニューオリンズにおけるエディブル・スクールヤード・プロジェクトの特徴, 2020 年度日本造園学会関西支部大会, ポスター発表, オンライン.

【外部資金の獲得状況】

基盤研究 C 「米国 Schoolyard Park にみる教育+環境+地域づくり拠点の創出手法」
(2020~2022, 研究代表者)

平成 31 年度大学等との連携による地域創生拠点形成支援事業「新たな観光コンテンツ開発と津波防災まちづくりの多角的展開」(研究代表者)

子どもの冒険ひろば開設費等補助事業「福良地区における高台プレーパークづくりに向けて」(研究代表者)

兵庫県公園緑地課予算令達「コロナ禍における県立都市公園のあり方研究」(研究代表者)

受託研究「慶野松原海岸における観光まちづくり計画の策定について(慶野松原盛上げ委員会)」(研究代表者)

受託研究「南あわじ地域に係る日本農業遺産申請に関する調査研究(南あわじ地域日本農業遺産推進協議会)」(研究代表者)

【受賞等】

守宏美・嶽山洋志・山本聡・中瀬勲 (2020) メディアがとらえたコロナ禍の公園. 2020 年度日本造園学会関西支部賞

平田富士男 教授

【著書】

平田富士男(2021)NPO と緑、「造園大百科事典」、印刷中、朝倉書店、東京

【学術論文】

平田富士男・橋俊光(2020)大都市市街地の都市公園リノベーション事業優良事例に見る民間公募要項作成上の重点、ランドスケープ研究 83-5、533-538.

平田富士男・井上裕美子・田中基文 (2021) 農村部個人住宅での住民との生活文化交流によるインバウンド観光コンテンツ造成技術とその評価、造園技術報告集 11、88-93.

平田富士男・橋俊光(2021) リノベーションへの活用可能性から見た公園計画設計資料の公文書としての保存状況、ランドスケープ研究 84-5、採択印刷中.

橋俊光・平田富士男(2021) リノベーションへの活用を見据えた都市公園台帳の調書記載内容の拡充の方向性、ランドスケープ研究 84-5、採択印刷中.

【外部資金の獲得状況】

科研費 基盤研究(C) (一般)「公園リノベーション時代の造園技術者に必要な新職能のオーラルヒストリーによる具体化」(平成 30～32 年度) 研究代表者

受託研究 「地域資源を生かしたインバウンド観光プログラムの担い手育成ワークショップの運営」、(一社) 豊岡観光イノベーション

兵庫県 ポストコロナ社会の具体化に向けた調査検討費補助事業